令和05年度日進市事務事業評価シート

大事業名	商工業振興事業				コード	04210100-0101	
中事業名	商工業振興事業				計画区分	①②	
担当部等	産業政策部		担当課等	産業振興課			
総合計画		コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称
	基本目標	04	産業の魅力を高める		会計	1	一般会計
	基本施策	21	商工業の振興		款	07	商工費
	主要施策	01	持続的に発展する経営と事業継続の支援		項	01	商工費
					目	02	商工振興費
					大	01	商工業振興事業
					中	01	商工業振興事業
根拠法令・条例等							
基本計画等							

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	市内商工業者の経営安定化を図れるよう、商工会による経営改善普及事業及び地域活性化につながるイベント事業に要する経費を助成する。また、企業立地推進事業として、愛知県、会員５４市町村、名古屋港湾管理組合、県内２２商工会議所、企業など官民の連携を図りながら事業の推進に努める。さらに、企業再投資促進事業として、市内に立地する企業の再投資を補助し、地域の経済・雇用を支えている企業を支援する。
対象	市及び商工会が行う事務
意図（目的）	市及び商工会が連携して業務にあたり、効率化及び経費の削減を図る。
手段	商工会、中小企業及び個人事業主への各種補助、愛知県産業立地推進協議会及び愛知県中小企業団体中央会への参加

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			R3予算額	R3決算額	R4予算額	R4決算額	R5予算額	R5決算額	R6予算額
			172,998	300,093	201,229	212,069	177,230	242,491	188,779
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	25,451	0	0	0	0	0
		県支出金	450	14,000	10,750	5,784	750	0	750
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	0	129,000
	一般財源		52,548	140,642	70,479	86,285	56,480	242,491	59,029
人件費	正規職員	業務量		0.00 人		2.28 人		2.16 人	0.00 人
		人件費		0.00		14,877.00		14,094.00	0.00
	会計年度任用職員	業務量		0.00 人		0.00 人		0.00 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		0.00	0.00
総事業費（千円）				300,093		226,946		256,585	0

令和05年度日進市事務事業評価シート

○令和 5年度に記載した具体的な改善内容

令和 5年度に実施する具体的な改善内容	令和４年４月１日に制定・施行した「日進市小規模企業・中小企業振興基本条例」及び商工会の「経営発達支援計画」の推進に向け、引き続き検討を行う。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	「日進市小規模企業・中小企業振興基本条例」及び商工会の「経営発達支援計画」の推進に向けて、商工会内に設置した関係機関参加による協議機関において検討を行う。

令和 5年度に取り組んだこと	市内中小企業者の経営の安定化・合理化に向けて、商工会による経営改善普及事業等への補助を行った。また、市内の小規模企業等の人材育成・雇用確保・販路拡大等に要する経費への補助を行ったほか、エネルギー価格高騰対策として、市内の中小企業が省エネルギー設備に更新または新設する費用に対し、補助を行った。

成果	各種経営支援事業の実施により、長引く新型コロナウイルス感染症拡大の影響下にありながら商工会加入率を向上させることができた。
課題	新型コロナウイルス感染症による落ち込みからは回復しつつあるが、物価高騰や人手不足の深刻化などにより、今後も市内中小企業者への経営支援や適切な情報提供に資する事業の実施が求められる。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	物価高騰や人手不足の深刻化などが市内中小企業者の経営に与える影響は、今後も続くことが懸念されることから、適時適切な経営支援策を講じていく。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 6年度に実施する具体的な改善内容		令和４年４月１日に制定・施行した「日進市小規模企業・中小企業振興基本条例」及び商工会の「経営発達支援計画」の推進に向け、引き続き検討を行う。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		「日進市小規模企業・中小企業振興基本条例」及び商工会の「経営発達支援計画」の推進に向けて、商工会内に設置した関係機関参加による協議機関において検討を行う。			

【アウトプット指標】

指標名	経営指導員による相談・指導回数					単位	回
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	1,500.00	1,009.00	1,500.00	880.00	1,500.00	766.00	1,500.00

【アウトカム指標】

指標名	商工会加入率					単位	%
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	60.00	56.60	60.00	58.00	60.00	58.20	60.00
式	商工会加入事業所数/商工事業者数（出典：２０１６年度経済センサス）×１００						
指標の狙い	アウトカム指標は６０％以上の加入率を目指す。						

令和05年度日進市事務事業評価シート

大事業名		観光振興事業				コード	04220100-0101
中事業名		観光振興事業				計画区分	①②③
担当部等		産業政策部		担当課等		産業振興課	
総合計画		コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称
	基本目標	04	産業の魅力を高める		会計	1	一般会計
	基本施策	22	観光まちづくりの推進		款	07	商工費
	主要施策	01	観光資源の発掘・魅力の磨き上げ		項	01	商工費
					目	03	観光費
					大	01	観光振興事業
					中	01	観光振興事業
根拠法令・条例等		観光立国推進基本法					
基本計画等							

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	にっしん観光まちづくり協会の運営や、周遊型観光事業の推進、まちミル博覧会の開催及び観光による情報発信を実施する。
対象	市及びにっしん観光まちづくり協会
意図（目的）	「ぐるぐるＮＩＳＳＨＩＮまちミル博覧会」の開催、産官学連携講座の開講、各種観光資源の発掘事業や地域ブランド創出事業の実施の他、観光協会公式観光Ｗｅｂサイトやグルメサイトの運営による観光資源の情報発信を行い、観光入込客数の増加を図る。
手段	観光まちづくり推進事業、観光まちづくり人材育成事業、観光関連情報の収集発信等各種事業の実施

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			R3予算額	R3決算額	R4予算額	R4決算額	R5予算額	R5決算額	R6予算額
			9,895	8,839	31,207	31,689	25,514	23,363	3,583
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	5,000	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		9,895	8,839	31,207	26,689	25,514	23,363	3,583
人件費	正規職員	業務量		0.00 人		2.30 人		2.16 人	0.00 人
		人件費		0.00		15,008.00		14,094.00	0.00
	会計年度任用職員	業務量		0.00 人		0.00 人		0.00 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		0.00	0.00
総事業費（千円）				8,839		46,697		37,457	0

令和05年度日進市事務事業評価シート

○令和 5年度に記載した具体的な改善内容

令和 5年度に実施する具体的な改善内容	愛知学院大学の「第７０回　愛学祭」と連携し、ジブリパーク２期エリア開園に合わせ、愛知学院大学にてプロジェクションマッピングを行うことにより、互いに事業に訪れることのない年代や地域の方への誘客を促すことが出ると考える。また、ジブリパーク来園者を含めた近隣市町からの誘客を図るため、周遊型観光促進を目的に、まちミル博覧会を「日進ならではの地域魅力資源を体感するプログラム」とした事業とする。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	ジブリパーク開園や「どうする家康」放映など、愛知県への注目度が高まっていることや、道の駅開駅等の新たな機会を好機と捉えて、観光振興事業を推進する。特にジブリパークは愛知県としても力を入れているため、積極的に連携を図り、本市の活性化につなげる。

令和 5年度に取り組んだこと	近隣市町からの誘客推進のため、にっしん観光まちづくり協会の主催で愛知学院大学の学園祭と連携したプロジェクションマッピングを開催し、合わせて市内の対象店をデジタルスタンプラリー形式で巡るグルメラリーを開催するなど、市外からの誘客促進を図った。また、市内からの参加が大半を占めていたまちミル博覧会のブラッシュアップを検討した。

成果	プロジェクションマッピングでは、２日間で約９，０００人の来場者があり、市外からの来場が全体の８０％を占めた。また、グルメラリーの参加登録者も全体の３５％が市外からの登録となるなど市外からの誘客を促進することができた。
課題	プロジェクションマッピングについては、技術力や話題性から多くの観光客を引き付ける魅力がある一方、経済効果が限定的となることが考えられることから、にぎわいを創出し、経済効果を産み出すには新たな仕掛けが必要である。特ににっしん観光まつづくり協会の独立民営化に向けた自主財源の獲得に向け、道の駅事業等との連携を検討していく必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	C	一部改善が必要	前年度評価結果	B
評価の理由	より多くの方に日進市に訪れていただくため、継続的に効果を産み出していけるような魅力的な地域ブランドや観光コンテンツを造成していく必要がある。また、まちミル博覧会については、日進ならではの魅力を体感いただけるようなプログラム造成をサポートし、市外からの誘客を促進できるようブラッシュアップしていく。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 6年度に実施する具体的な改善内容		愛知県内でも選ばれる観光地としての誘客を図るため、市の資源を活かした地域ブランド（看板商品）創出や市にゆかりのある著名人の観光ＰＲ大使への任命、市制３０周年記念事業などを通じてプロモーションを実施し、愛知県内でも選ばれる観光地としての誘客を図る。また、道の駅開駅に向け、観光まちづくり協会の独立・民営化の検討を進めていくほか、まちミル博覧会の観光プログラムへの移行を行う。			
今後の方向性	成果	●拡充	○維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	●拡大	○維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		主に市職員が事務局を兼任している観光まちづくり協会について、民間企業等の力を借りながら、自主財源の確保を検討しながら、独立・民営化を進めていき、市と両輪となって観光振興を進めていき、地域観光づくりの司令塔となる組織とし、観光入込客数の増加を図る。			

【アウトプット指標】

指標名	観光施設利用者数（岩崎城、愛知牧場、五色園）					単位	人
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	250,000.00	270,244.00	300,000.00	292,177.00	320,000.00	311,847.00	343,000.00

【アウトカム指標】

指標名	対前年度比観光客数					単位	%
指標データ	R3年度		R4年度		R5年度		R6年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	125.00	114.86	120.00	108.11	120.00	106.73	110.00
式	今年度観光客数／前年度観光客数×１００						
指標の狙い	既存の観光資源の活用により、観光客数の増員を目指すことを狙いとする。						